

各施設配置計画(案)に対する概算事業費

単位:百万円

費目	彦根総合運動場(A案)	希望が丘文化公園	びわこ文化公園都市	備考
基盤工事費	1,240	750	4,490	
基盤整備費	200	700	4,490	
撤去費	1,040	50	—	
施設整備工事費	10,490	10,460	10,760	
用地補償費	—	—	3,620	※びわこ公園の用地費には土地開発公社先行取得用地を含む
間接費	1,760	1,680	2,830	上記費目計の15%
基本事業費計	13,490	12,890	21,700	

特殊工事費	2,340	2,020	340	
地盤対策費等	1,370	450	340	
その他園内必要施設	970	1,570	—	彦根:駐車場ほか(用地費含む) 希望:園内通路整備(橋梁架替含む)
代替施設整備費	1,740	580	—	
テニスコート(工事費)	640	580	—	
(用地費)	300	—	—	
多目的グラウンド(工事費)	240	—	—	
(用地費)	410	—	—	
スポーツ会館(建設費)	150	—	—	
その他想定される経費	610	2,280	300	
関連公共施設整備費	—	1,640	220	希望:スマートIC整備費(地方自治体負担分) び文:上下水道施設整備費
間接費	610	640	80	上記費目計の15%
関連事業費計	4,690	4,880	640	

事業費総計	18,180	17,770	22,340	
-------	--------	--------	--------	--

現状の年間維持管理費 (過去3年平均)	123	485	—	
------------------------	-----	-----	---	--

整備後の想定年間維持管理費	166	528	143	
---------------	-----	-----	-----	--

年間維持管理費の増加分	43	43	143	
-------------	----	----	-----	--

概算事業費算定概要

単位:百万円

費 目	彦根総合 運動場(A案)	希望が丘 文化公園	びわこ文化 公園都市
特殊工事費			
地盤対策費等	1,370	450	340
	<ul style="list-style-type: none"> ・地下約12mの地盤までを深層混合処理(注1)する。(改良は、競技場内面積の約20%程度とする。) ・さらに表層部分約1mについては全面を表層混合処理(注2)し、沈下の低減を図る。 ・スタンド部分については、深さ約20mまで基礎杭を施工する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技場内については、地表部分約2mについて全面を表層混合処理を施し、現状の沈下の低減を図る。 ・スタンド部分については、深さ約10mまで基礎杭を施工する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンド予定位置における盛土部分(約60%)について、深さ約20mの基礎杭を施工する。
その他園内必要施設	970	1,570	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・彦根市から提案のあった敷地拡張部分について、用地補償費、造成費や園地・駐車場整備費を計上する。 拡張面積 約2.5ha (うち市有地0.8haを除く1.7haを買収) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存橋梁(L=72m 有効幅員7m)を同構造の大型車対応の橋梁(L=72m、幅員9m)に架替える。 (構造:上路式逆ランガー橋) ・園内通路整備 約4km 	-
代替施設整備費			
テニスコート	940	580	-
	施設概要 砂入り人工芝コート 12面、 スタンド 400㎡(約500人収容) 用地面積 10,400㎡	施設概要 人工芝コート 5面 (うち3面屋根付き)	-
多目的グラウンド	650	-	-
	施設概要 施設・用地面積 14,000㎡	-	-
スポーツ会館	150	-	-
	施設概要 建築面積 500㎡	-	-
その他想定される経費			
関連公共施設整備	-	1,640	220
	-	施設概要 スマートIC整備 1式 (地方自治体負担分のみ)	施設概要 上水管路整備 約400m 配水池負担金 1式 下水道管路整備 約1,000m

(注1)深層混合処理 :セメント系固化材と原地盤の軟弱土を攪拌・混合し柱状に固化する工法

(注2)表層混合処理 :セメント系固化材により原地盤の表層部分を固化する工法(深さ3m程度まで)

維持管理費検討資料

1 現状の維持管理単価

施設名称	①平均年間維持管理費(円/年)	敷地面積(m ²)	②維持管理費単価(円/m ² /年)	備考
彦根総合運動場 (H22～24決算平均)	123,038,298	140,000	879	敷地面積 14.0ha 競技場 第2種陸上競技場 収容人数 6,000人(うち芝生4,900人) S14年 竣工 S44年 第2種公認
希望が丘 (H22～24決算平均)	485,367,508	1,030,000	471	敷地面積 103ha(全体416haから自然山林を除いた部分) 競技場 第4種陸上競技場 収容人数 4,000人(芝生席) S47完成 H10年 第4種公認
<算定基礎とする施設>				
A 紀三井寺公園(和歌山県) (H22～24収支報告平均)	132,467,333	149,000	889	敷地面積 14.6ha+0.33ha(相撲競技場) 競技場 第1種、第3種陸上競技場 収容人数 19,200人(うち芝生5,950人) S39完成、H24改修 その他設置施設 野球場、テニスコート、児童公園ほか
B 厚別公園競技場(札幌市) (H22～24収支報告平均)	71,831,333	132,000	544	敷地面積 13.2ha 競技場 第1種、第3種陸上競技場 収容人数 20,861人(うち芝生4,000人) S61完成 その他設置施設 -
C 丸亀競技場(香川県) (H22～24収支決算平均)	139,028,621	102,000	1,363	敷地面積 10.2ha 競技場 第1種、第3種陸上競技場 収容人数 30,099人(うち芝生6,000人) H9完成 その他設置施設 -
A～Cの平均値	114,442,429	127,667	932	

2 整備箇所維持管理費 設定単価

D 整備箇所維持管理費 設定単価 (円/m ² /年)	932
--	-----

3 各候補地維持管理費(想定)

	彦根A	希望が丘	び文
③整備箇所面積 (m ²)	132,312 (140,000m ² (全体)+17,000(敷地拡張部分)-24,688m ² (野球場))	94,000 (1種、3種、入口広場、オーブンスペース等)	153,000 (全体)
④整備箇所維持管理費 (円/年) =D×③	123,314,784	87,608,000	142,596,000
⑤従前箇所面積 (m ²)	24,688 (野球場)	936,000 (1,030,000m ² (全体)-94,000m ²)	-
⑥従前箇所維持管理費 (円/年) =②×⑤	21,700,752	440,856,000	-
⑦代替施設維持管理費 (円/年) =②×(面積)	21,447,600 (10,400m ² (テニス)+14,000m ² (多目的))	- ※テニスコートについては場内で機能復旧することを想定し、従前の維持管理費⑥に含めて算出する。	-
⑧全体維持管理費 (円/年) =④+⑥+⑦	166,463,136	528,464,000	142,596,000
現維持管理費からの 増加分(円) =⑧-①	43,424,838	43,096,492	142,596,000

各施設配置計画（案）における年間維持管理経費の財源

単位：百万円

区分	彦根総合 運動場(A案)	希望が丘 文化公園	びわこ文化 公園都市
ネーミングライツ料金収入	10	10	10
利用料金収入	32	115	14
指定管理料 (H22-24平均)	(100) 124	(398) 403	(-) 119
合計 (=年間維持管理経費)	166	528	143

◆ネーミングライツ料金(想定)

- 通常、ネーミングライツの価格は、「他の類似する施設の状況」「施設利用者数」「メディアへの露出度」等を考慮し算定される。
- ここでは、施設利用者数の見込を想定していないため、同規模(15,000~21,000人。下表)の施設の状況を参考にする。
- ただし、同規模の他施設は、Jリーグチームのホームスタジアムとなっていることから、施設利用者も多くメディア露出度も高い。
- そのため、本県においては、1種・3種のセット契約と仮定した場合でも、他県の3割減で見込むものとする。



新陸上競技場の年間ネーミングライツ料金 (下表の最大値と最小値を除く平均額×70%)	1,000万円
---	---------

都道府県	陸上競技場名	収容人員	年間料金	Jリーグ ホームスタジアム
神奈川県	相模原麻溝公園競技場	15,000人	1,000万円	S.C.相模原 J 3
	(相模原ギオンスタジアム)			
群馬県	群馬県立敷島公園県営陸上競技場	15,000人	700万円	ザスパクサツ群馬 J 2
	(正田醤油スタジアム群馬)			
山梨県	小瀬スポーツ公園陸上競技場	17,000人	2,000万円	ヴァンフォーレ甲府 J 1
	(山梨中銀スタジアム)			
神奈川県	平塚競技場	18,500人	2,000万円	湘南ベルマーレ J 2
	(Shonan BMW スタジアム平塚)			
岡山県	岡山県総合グラウンド陸上競技場	20,000人	1,000万円	ファジアーノ岡山FC J 2
	(kankoスタジアム)			
山形県	山形県総合運動公園陸上競技場	20,000人	2,100万円	モンテディオ山形 J 2
	(NDソフトスタジアム山形)			
愛媛県	愛媛県総合運動公園陸上競技場	21,000人	2,234万円	愛媛FC J 2
	(ニンジニアスタジアム)			
福島県	福島県営あづま陸上競技場	21,000人	1,050万円	福島ユナイテッドFC J 3
	(とうほう・みんなのスタジアム)			

年間利用料金収入額（想定）


1. 県内施設の実績

（単位：円）

施設名称	陸上競技場 (2種 or 4種)	陸上競技場 以外の施設	合 計
彦根総合運動場 (H22～24平均)	1,844,597	 17,909,448	19,754,045
希望が丘文化公園 (H22～24平均)	2,065,685	 100,401,335	102,467,020

2. 他県類似施設(1種・3種陸上競技場のみの施設)の実績






（単位：円）

施設名称	陸上競技場 (1種・3種)	陸上競技場 以外の施設	合 計
厚別公園競技場(札幌市) (H22～24平均)	23,463,000	0	23,463,000
丸亀競技場(香川県) (H22～24平均)	17,052,247	0	17,052,247
平均(①)	20,257,623	0	20,257,623
参考額(①×70%)	 14,180,336	/	

※本県は、他県類似施設ほどJリーグチームの使用を見込めないため、参考額は3割減とする。

3. 各候補地の年間利用料金収入額(想定)

（単位：円）

施設区分	彦根総合 運動場(A案)	希望が丘 文化公園	びわこ文化 公園都市
陸上競技場(1種・3種)	 14,180,336	 14,180,336	 14,180,336
陸上競技場以外の施設	 17,909,448	 100,401,335	0
合 計	32,089,784	114,581,671	14,180,336